

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもの家こより		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 6日		2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 1人
○従業者評価実施期間	2025年 1月 6日		2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 4日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	送迎、入浴があること。	送迎の人数によって添乗を増やして安全に送迎をしている。 入浴も保護者様に確認を取り相談して行っています。	送迎時間に余裕を持って準備をしている。車の点検清掃を行っている。 入浴前に入浴準備を整えて確認している。温度計を使い温度を確認している。
2	1日を通した療育の為、一人一人の生活リズムに合わせて支援します。	一人一人がお薬や、注入時間があるので保護者様に確認をして 1日の活動を看護とも相談してスケジュール調整しながら療育をしている。	朝職員とミーティングを行いその日利用予定の子供達の情報を共有している。 前回の利用の様子も共有する事で気を付ける事を皆で知ることができる事でより安全に療育ができる。

3	活動を通していろいろな体験ができる。	室内活動、室外活動どちらにおいても、 自宅では難しい遊びを経験できるようにしている	児童の好奇心、興味が出るように感覚、嗅覚、視覚など沢山の経験、体験の機会を作り就学などに向けて土台を築いていく。
---	--------------------	--	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	お部屋が狭い	お荷物をまとめて置くように籠に入れて整とんをする	籠にお名前の札を付ける。棚に荷物を置いて部屋の下にはなるべく物を置かない。使ったら元の場所に戻す
2	保護者が支援の様子を見る機会が少ないため、児童がどのように過ごしているのか、楽しく過ごしているのか、どのような支援を受けているのかが不透明なこと。また、保護者同士の関係や兄弟児へのフォローなどが少ない。	完全母子分離のため、連絡帳や面談、電話、ライン、ブログを通して児童の様子を伝えているが、自宅と同じ支援を行ってもうまくいかず、保護者の成功体験を積めないことがある。	参観や行事の時にフォローが必要なご家庭には職員が丁寧に関わるようにする。保護者に見ていただいてアドバイスをしたりいただいたりしてより安全に支援や、活動、行事が提供できる。
3	災害時の対応が保護者へ伝わりづらい。	安全計画を元に研修や訓練を行っているが、その内容が保護者へ伝わりづらい。	研修や訓練時には写真の撮影を行い、ブログで積極的に公表することで取り組への認知を高める。面談などの時にお伝える。